

(別添資料1)

事業所名

発達支援施設はじめの一歩須恵事業所2nd

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

3 月

26 日

法人（事業所）理念		障がいがある」「なし」に関わらず、ひとりひとりの個性を大切にしながら、将来、子ども達が人として自分の価値を見出すことが出来る活動を展開し、多くの「成功体験」や「失敗体験」をすることで、子ども達の「やる気」「自信」「自己肯定感」を強め、地域・社会の中で人と繋がり自分らしく生きていくことが出来る力をつけていく。					
支援方針		踏み出した一歩（結果）も大切だが、その一歩を踏み出すまでの「過程」や踏み出そうとする「勇気」や「決意」を大切にしたい。支援者は子どもと一緒に「過程」を歩んでいく中で、「勇気」や「決意」をもつことが出来るように支援・サポートしていく。 ・日々の活動プログラムの中に、「成功・失敗」といった体験が出来る機会を意図的に作り出し、誉める機会を作る。 ・たとえ「失敗」したとしても結果の評価やプロセスの評価ではなく、次に向かう姿勢や気持ちにスポットを当ててほめる。 ※誉めるときは、具体的に言葉にして伝える。					
営業時間		10 時	0 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	持ち物の整理整頓や確認・身だしなみ・・クッキング					
	運動・感覚	様々な動きを伴う運動遊び（体幹強化・バランス・協調運動・運動企画等）ボール遊び・製作活動・触感覚遊び・レクリエーション活動					
	認知・行動	宿題や学習のサポート・ソーシャルスキルトレーニング・クッキング					
	言語コミュニケーション	ルールのある遊び、集団協力遊び・レクリエーション活動・ソーシャルスキルトレーニング・クッキング					
	人間関係社会性	ルールのある遊び、集団協力遊び・レクリエーション活動・ソーシャルスキルトレーニング					
家族支援		送迎時間や面談を通して、お子様に関する新たな気付きを感じてもらいつつ、子育てに関する相談や困り事についての聞き取りを行う。				移行支援	同法人の事業所との共同イベントでの交流 ・地域にある他施設との交流会の検討・実施
地域支援・地域連携		糟屋中南部地域自立支援協議会児童部会に積極的に参加し、情報交換・共有を行うことで、各施設や関係機関との連携強化を図っていく。また地域主催の研修等ぬ連携会議の場に積極的に参加し情報交換、共有を行うことで各施設や関係機関との連携強化を図っていく。 また、市主催の研修等にも積極的に参加し情報収集に努める。				職員の質の向上	・長崎大学「高度人材育成プログラム」研修希望者のみ実施。 ・月1回／事業所ミーティングを実施 ・オンラインでの研修がある際は、積極的に受講を進めていく。
主な行事等		・遠足 見学 ・夏祭り 避難訓練（火災・地震・風水害・不審者） ・事業所外活動（野球観戦・みかん狩り・マリンワールド等） ・クッキングレク・定期クッキング ・ハロウィンパーティー ・スポーツ大会 ・クリスマス会 ・消防署					